

消防団たずね歩き

長田消防団第5分団

防災教育に向けて

私が消防団に入団したのは阪神・淡路大震災の復興の兆しが見え始めた平成15年でした。

当時は復興に向けて皆が一丸となって躍進し、強い防災意識が芽生え始めていた頃だと思います。入団から21年経ち、長田消防団第5分団長として、分団員の先頭に立って、南はJR新長田駅から北は高取山頂迄の防災訓練や防火水槽等の点検に従事しています。

我が第5分団は、この街を守りたいと熱い思いで講習受講や訓練に積極的に参加する熱い気持ちを持った団員で構成されております。

令和5年9月神戸市立五位ノ池小学校から3、4年生への防災教育授業の講師の依頼がありました。なぜ、消防団?と疑問を持ち、学校に確認したところ、社会科の教科書に消防団に関する記載があるとのことでした。

我が分団にとって初めての案件で不安もありましたが、小学生に防災や消防団を理解してもらえる良い機会なのではと受けさせていただきました。長田消防署と団本部に相談したところ、第1分団で実績ありとのアドバイスを頂き、長田消防署副署長も参加していただけるとのこと、小学校との調整も順調に進み、当日をむかえることが出来ました。

団員が講師で副署長が補助講師を、私は記録係を担いました。子供たちの素朴な疑問や大人では思い付かない気付きに驚かされ、終始和やかな中、真剣な話し合いもあり、とても有意義な時間が持てました。後日、先生方

からは丁寧な、生徒たちからは手作りの可愛い御礼状を頂き第5分団の宝物になりました。

また、翌月には校外学習として消防団詰所の見学依頼がありました。見学の後、防火水槽に備え付けの小型動力ポンプで放水訓練を実施し、訓練後の質疑応答では、ノートと鉛筆を握りしめた生徒から「出動しているときはご飯を食べていますか?」「お風呂には入っていますか?」等可愛い質問や、「消防団員にはどうしたらなれますか?」と嬉しい質問の他、「水槽の水の量は?」と回答も間違えられない緊張感もあり、さながら公園での青空授業のような光景で良い体験をさせていただきました。これも協力して下さった消防署員の方々や平日にも関わらず仕事を調整して出動してくれた団員達のお陰です。

小さな小学生達から学校関係者や保護者の皆様、地域住民へと防災意識の向上が広がる活動が出来たと思います。

第5分団は住民と共に防災の強い街づくりに貢献して行きます。

これからもよろしくお願い致します。



長田消防団第5分団分団 原田和行